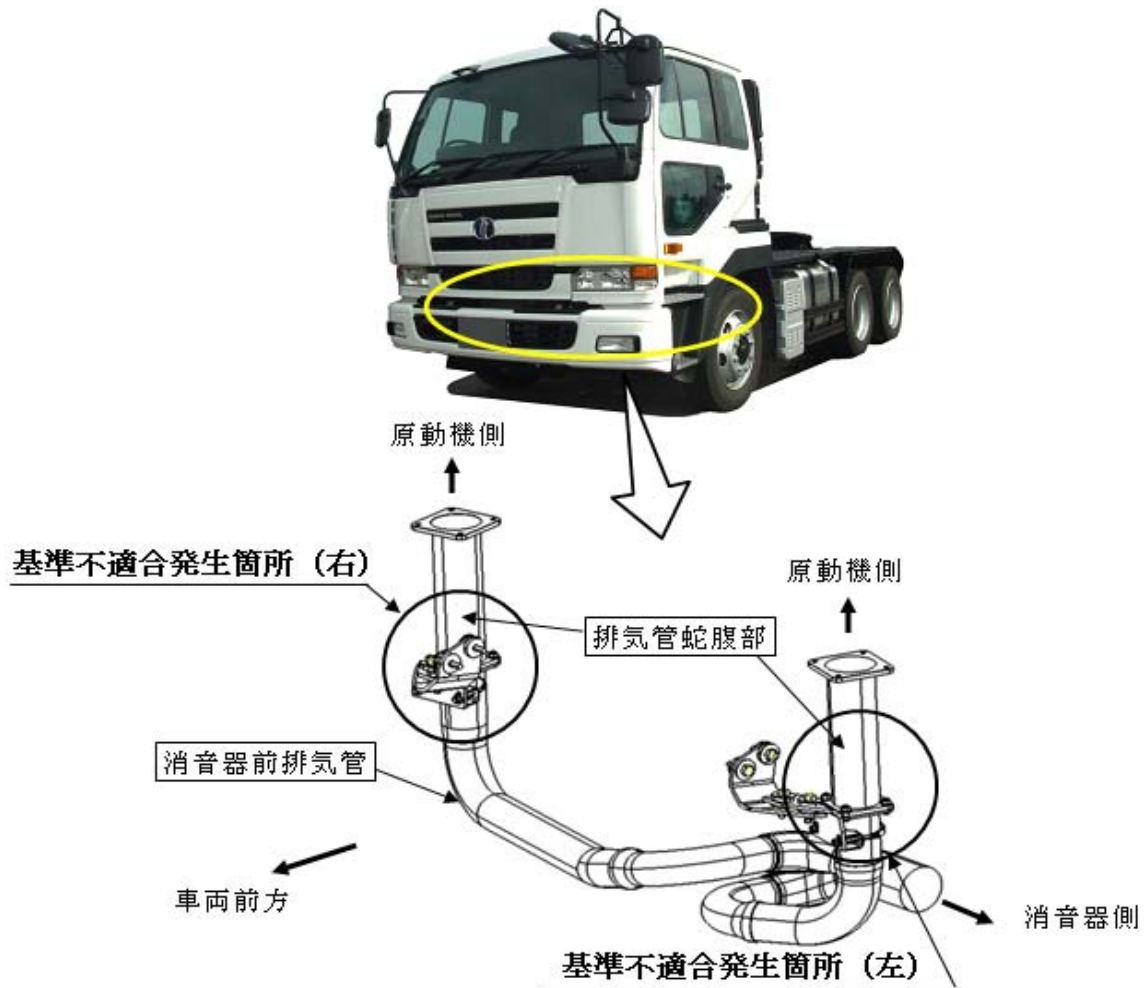


# 改善箇所説明図



排気管蛇腹部の構造が不適切なため、原動機の振動により当該蛇腹部が摩耗し、亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、排出ガスが漏れ、騒音が増大するおそれがある。

## 改善の内容

全車両、排気管蛇腹部及び消音器前排気管を対策品に交換する。

注:  内は交換部品を示す。

識別: 左右の排気管取り付けブラケットに、白色ペイントを塗布する。

(備考) 本届出は、平成19年11月19日に届け出たリコール「届出番号2001」の対策が不十分であったため、対策内容を見直し、再度対策を実施するものである。